

平成24年度第1回富士見市スポーツ推進審議会 議事録

日時：平成24年7月11日(水) 午後7時30分～9時30分

場所：教育委員会 会議室

出席者：(委員) 清水会長、山口副会長、押田委員、山口委員、羽深委員、佐藤委員、大竹委員、猿渡委員  
(欠席1名)  
(事務局) 金田課長、加藤副課長、大日方、高見

資料：①平成24年度スポーツ関連事業計画、②平成24年度市民総合体育館自主事業計画、  
③平成24年度ガーデンビーチ事業計画、④平成24年度健康増進スポーツ大会事業計画  
⑤平成24年度生涯学習課スポーツ関係予算概要  
⑥これまでのスポーツ推進審議会での意見まとめ

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事 (進行：会長)

(1) 報告事項

- ・平成24年度生涯学習課スポーツ事業計画について  
(資料①～⑤に基づき事務局より説明)

(2) 協議事項

- ・富士見市のスポーツ推進について (意見交換・前回からの継続)  
(事務局より、資料⑥に基づきこれまでの経過等に関して説明)

●主な意見等は次のとおり

事務局：子どもの体力向上やスポーツにどう係わるか、最近の子どもは、ゲームや携帯などの影響からか、なかなか身体を動かすとか、スポーツの前に、遊びなどの交流が、どんどん無くなってきている。そういった子どもたちにどのようにスポーツに親しんでもらう事が出来るのか、そのためには、地域、学校、あるいは、行政がどのようなことが出来るのか、意見やアイデアをお願いしたい。

委員：学校の休み時間にサッカーをやっているが一部である。クラスでチームができるわけではない。学年の中でやっと10人のチームで、ただゴールの前でボールを蹴るとというのが状況である。昔は学級で野球大会をやっていたが、ここ10年位ない。結局、子どもたちに野球をやろうといっても、ルールを説明するのに時間がかかる。

委員：埼玉県スポーツ推進計画(案)の重点取り組み事項として、子どもが親と一緒に取り組む「親子スポーツ」を普及・推進するため、各種のイベントや講座等の積極的な開催に取り組むとあるが、まさにこういった視点が必要なのかなと思う。乳幼児を抱えたところから始めて、小学校へ行く前から親子で何か出来るような、そういう環境づくりも必要かなと思う。

委員：公園などでサッカーボールやゴムボール、バットなどが気軽に使える場があるということも大事だと思う。また学校などに、『オリンピックや県大会に行きます』というような横断幕などを掲示して、市民に興味を持たせるとかも必要かなと思う。また、富士見市らしさを出すことが必要では。例えば荒川などは大きな特徴かなと思う。縄文マラソンが行われているが、縄文とつくところだけかなという気がする。縄文の遺跡から発して…ということが大事な事かなと思う。

委員：富士見市の小学校の体力的にはどの程度なのか。

委員：体力的には市全体では県平均と同じ程度であるが、埼玉県は確かボール投げが何年か全国最下位である。私の学校で体力向上を前面に上げて、休み時間、全校ドッジボール大会を2回やったが、ボールがいかない。1回目は、男女一緒にしたら、女子はついていけない。2回目は男女別にしたら、女子は球は行かないし、転がってくる球を取れない状況である。でも、継続して行った結果、6～7割の児童が休み時間に校庭に出て、練習のようなことを行っている。また、ボール投げのうまい子に、濡れたタオルを渡すと、ちゃんと絞ることができる。また、埼玉のこの地区は投げるだけじゃなくて、握りも弱いので、投げることと握ること両方を重点に取り組んでいる。

委員：私はレクリエーションにかかわっているが、ある幼稚園から、子どもに鉄棒となわとびを教えたいが、そのために握力をつけ、やる気を起こさせるようなレクリエーションのやり方の指導をしてほしいとの依頼が来た。幼稚園の先生がなぜ出来ないのかと思った。

委員：遊べない世代が教員になってきている。いろんな自然を使った遊びの経験が無い、その世代が教員になっている。私たち世代は自分たちで遊び方を持っているので、それを若い先生方に教えていかないと子どもを遊ばせられない状況になる。

委員：親も同じでは。遊び自体を知らないで親になっている。遊びとは単なる遊びだけじゃなくて、遊び心とか、楽しいという経験が無いから、遊ばせられないのでは。スポーツだ、スポーツだとあるが、スポーツよりも遊びを、国をあげて広げた方が良いのではと思う。

委員：それは大事なキーワードでは。

委員：3歳の孫がいるが、父親がサッカー選手で、いつもお正月に在校生とOBで試合を行っている。それを孫に見せたところ、帰ってきたらボール蹴っている。何かを見て、自分もやりたいということが重要だと思う。

委員：もっと富士見市も遊びを推奨しては。

委員：南畑小ではつながりを持てるような色々な遊びやゲームを休み時間に広めていった。それがあから南畑の子は色々な遊びができるのでは。実際に南畑は体力的にもかなり良い。ドッジボール大会、バスケット大会でも、小さい学校だが一番強い。

事務局：富士見市らしいものが必要だろうということで、例えば荒川とか、縄文マラソンという意見をいただいた。教育委員会では現在、教育振興基本計画策定に向けた作業を進めているところであるが、そこでも富士見市らしさについて議論されているところである。また、遊びをキーワードとして、まずスポーツを始める前には、遊び心、外遊び、そういった遊びという話もいただき、我々の方でも考えなければいけないと思った。今後それぞれの団体からの意見を吸い上げて頂くということも是非、お願いしたいと思う。

(3) その他 特になし

#### 4. 閉会